

秋田県立横手高等学校定時制課程「青雲館」のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

本校は明治31年の創立以来、120有余年の歴史を誇る秋田県内屈指の伝統校で、定時制課程は、平成18年度に旧横手工業高等学校定時制課程が本校に移管されて誕生いたしました。平成20年に現在の新校舎「青雲館」に移転して、今年で15年目を迎え、さまざまな学校行事を通して地域と関わり、地域の皆様に信頼される学校として歩んでおります。

本校生徒は定時制課程の特色を生かして、仕事と両立させながら勉学に励んだり、編入学・転入学によって高校での学習を継続したりしながら、充実した高校生活を送っております。これまで約470名が卒業し、この学び舎を巣立っていきました。

本校定時制課程の特色を紹介いたします。

①本校は単位制の高校です

多くの高校は学年制を採用しており、その学年で定められた単位を修得できないと進級や卒業ができません。しかし、単位制の本校では一度修得した単位はずっと有効で、単位数を積み重ねて合計74単位以上修得すると卒業できます。

②本校は二部制の高校です

I部は午後の時間帯を中心に、II部は夜の時間帯を中心に学習をします。したがって、学校に登校している時間帯以外でアルバイトをすることも可能で、自分の生活スタイルに合った部を選択して学ぶことができます。

③本校には三修制（3年で卒業できる制度）があります

定時制課程は通常4年間の学習で卒業となりますが、本校では他部の授業を選択（他部履修）したり、通信制課程の高校の科目を受講（定通併修）したりすることで、全日制課程と同じ3年で卒業することもできます。近年では、半数以上の生徒がこの制度を利用しています。

④本校は部活動や学校行事も盛んです

運動部・文化部ともに全国大会まで進出して活躍する部活動も多く、地域清掃活動や「かまくら作り」をはじめとしたボランティア活動も盛んです。また、地域の方々と防災訓練や避難所開設訓練も行っており、地域とともにある学校として積極的に取り組んでいます。

⑤一人一人の進路を実現します

就職はもちろん、公務員試験合格や四年生大学等への合格も実現させるなど、全職員で生徒一人一人の志望に応じた進路指導に取り組み、進路志望の達成を支援します。

このように、横手高等学校定時制課程「青雲館」では、生徒一人一人を大切に、その学びや成長を支援するとともに、社会でたくましく生きていく力を育みます。

そして本校で学ぶ生徒に期待することは、大いなる志を抱き“未来のためにいま”と真摯に向き合うとともに、多くの学びや経験を通じて“自分を創る”こと、また、“柔軟な発想と対応”ができる力を身につけること、です。

本校の教育活動へのご理解とご支援を、よろしくお願い申し上げます。本校に興味のある方は、ぜひ青雲館を見学してみてください。

令和4年4月 第47代校長 難波文彦